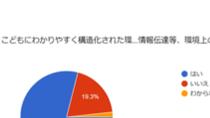
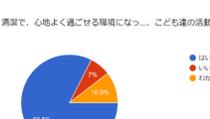
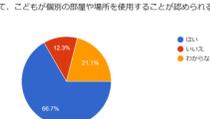
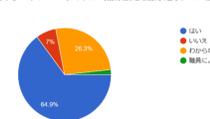
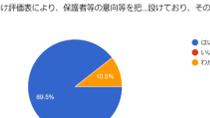
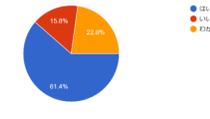
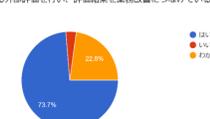


公表 事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名 うめだ・あけぼの学園

公表日 2025年2月28日

	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	42	6	9	<p>法令に基づいた人員配置を行っています。お子さんたちの生活のしやすさを目指し、室内の整理整頓などにも努めています。</p> 	この項目には約25%ほどの職員が「いいえ」「わからない」と判断しています。意見として出てきている「狭く感じる」「収納に課題がある」など「スペースにまつわる周辺的な課題」について、学園全体の備品・教材の見直しも含め、面積や定員以外の面での課題解決に向けた検討を引き続き行っています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	35	12	10	<p>学園として、適切な配置や適正な人員配置を行っています。欠員が生じたときは、室や部門を超えた協力体制を取ることで、支援を提供することができています。</p> 	職員の長期休みなどが生じると、ゆとりが不足する印象や、体調が悪い時に休みを取りにくい印象を持つ職員がいるようです。職員が休む際にサポートする側の職員のこども含めフォロー体制の強化を目指します。職員が動きを工夫することで、もっと子どもたちとの時間を作ることができると考えます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	45	11	1	<p>学園には、「見る力」に課題があるお子さんも多く通い、また、様々な工夫を行うことがお子さんの理解を支え、視覚的支援や視覚的な構造化などの必要性が共通理解されています。環境として整えたり、お子さん一人一人に合う工夫を模索した取り組みを行っています。</p> 	この項目については、一定数以上の職員が「いいえ」と判断しています。必要性を高く認識しているからこそ、現状についてさらなる改善が必要と考えていると判断します。掲示物の整理や視覚的構造化、バリアフリーの強化はさらに検討を行います。下駄箱の改善、ことば以外の可視化されたコミュニケーション手段の充実を図ることも目指します。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	47	4	6	<p>日々の清掃に加え、クリーンデーなど清掃に対して意識を持って取り組むことができています。清掃や消毒などもしっかり行い、子どもたちの安全や健康を守る取り組みを行っています。</p> 	引き続き、ロスナイスシステムやAirdogを用いた換気を行います。棚や床の劣化、水回りの衛生について、清潔で快適な環境を保つためにできることを、学園全体で考えていきます。日常的な清潔を保つためにできる工夫も併せて検討しましょう。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	38	7	12	<p>パーティションの活用などを行い、子どもが落ち着ける環境を整えています。基本的にクラスで過ごしつつ、クールダウンのために医務室を借りたりすることができています。</p> 	「いいえ」「わからない」の回答がやや多くなりました。子どもが安心して落ち着くことのできる場所については、職員でどういった場所が該当するかの共有を行います。子どもにとって快適な環境を提供できるような工夫をさらに行っていけるよう、学園を上げて検討していきましょう。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	37	4	15	<p>業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。</p> 	プロジェクトにより、具体的な取り組みを進めることができています。また、職員の意見をグループフォームなどにより収集しています。	業務の効率化をさらに図っていくために、一人ひとりが効率化への意識をさらに持てるようにすること、システムとしての効率化が図れる取り組みを行っていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	51	0	6	<p>保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握しており、その内容を業務改善につなげている。</p> 	行事ごとの保護者アンケート、療育アンケート、ガイドライン自己評価、療育参観後のアンケートなど、保護者に意見を聞く機会を作り、支援に活用するように努めています。「提案箱」のように、匿名で声を寄せることができる仕組みも活用しています。	保護者の方が、日常的に忌憚のない意見を伝えられるよう、これからも工夫を行っていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	35	9	13	<p>職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。</p> 	グループフォーム、面談など、色々な機会を通じて、職員が意見や考えを伝える機会が評価されています。また、出された意見が、支援や業務遂行に活かされることも評価されています。	「いいえ」「わからない」という意見も一定数以上見受けられており、意見が反映されない・双方向のコミュニケーションが不足しているという意見もありました。職員が意見を伝える仕組みの周知と、出された意見などへのフィードバックの仕方には、学園としての工夫を行っていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	42	2	13	<p>第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。</p> 	その意味や意義などが朝礼などで周知され、職員の協力もあり実施されています。結果についても、職員で周知することができています。	必要な改善事項の改善プロセスについては、十分に周知できてない面もあるようなので、工夫を行っていきます。

20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50	4	3	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われて確認し、チームで連携して支援を行っている 57件の回答 	毎日朝礼を行い、日々の確認を行うことができています。「朝礼ホワイトボード」や記録など、朝礼に参加しなくても確認できるようにしています。朝礼終了時間が決まっています、室のミーティングや準備などができるようになりました。	ミーティング時間を確保することが難しいという意見や、お子さんについてのミーティング等の時間不足に関する意見がありました。必要な時間や作業時間の捻出や業務の効率化については、ICT化を進めるなど、学園全体の課題として、取り組んでいきます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	52	2	3	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた振り返りを行い、気付いた点等を共有している 57件の回答 	見通しを持ったスケジュールや、スムーズに進める工夫を行っています。保護者とのやり取りについては、記録に詳しく記載するなどの工夫も行うことができています。	「はい」の評価は多いですので、引き続きタイムリーな情報共有や丁寧な記録などによる情報共有を行っています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	55	0	2	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている 57件の回答 	記録について、多くの職員が取り組んでいる実感を持っています。各種様式を定め、活動の記録、支援の記録を行っています。	引き続き、丁寧な記録を目指し、日々の振り返りや支援の充実に向けた取り組みにつながるよう心がけていきます。記録のフォーマットについても、検討していきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	55	0	2	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている 57件の回答 	園全体でモニタリングのスケジュールを確認したり、契約時期や利用開始時期によっては個別的な時期の把握をしながら、モニタリングを実施しています。また、急遽内容の変更が生じたときには、支援内容の変更の必要性の確認も行っています。	引き続き、定期的なモニタリングの実施に努め、お子さんや保護者のニーズに沿った支援が行えるようにしていきます。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	46	2	9	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している 57件の回答 	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議には、担当者をはじめ、室長や部長などが必要に応じて参加しています。	今後も、お子さんのことをよくわかる担当者やその他の職員が、サービス担当者会議や関係機関の会議に参加し、支援の充実を図っていきます。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	54	1	2	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている 57件の回答 	お子さんの関係する機関や医療機関との連携、お子さんの生活する地域生活の充実に向けた連携などを、地域自立支援協議会や要保護児童対策、学校運営連絡協議会などへの参加を通じたネットワークづくりを行っています。	引き続き、お子さんを中心に据えた機関同士の連携や、地域の様々なネットワークに関与していくことで、地域の支援力の向上と、子どもたちが生活する地域のさらなる豊かさにつなげていくよう努力します。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	51	1	5	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている 57件の回答 	インクルージョンの推進は、全園をあげて取り組んでいます。毎日通園室のインクルーシブ活動、親子通園室の関係機関連携、指定日通園室の保育所等訪問支援や法人内連携など、各部門ごとに多様なメニューを準備して行っています。移行や引継ぎ等も、お子さんや保護者と内容を確認して進めています。	地域のインクルージョン推進の中核機能を持つ児童発達支援センターとして、多様な支援メニューを準備し、インクルーシブな社会の構築の一端を担っていきます。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	52	0	5	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている 57件の回答 	就学時の移行の際に、お子さんの支援内容や学校生活での配慮事項などの情報共有を行い、相互理解を図っています。	お子さんやご家族が安心して学校生活に移行したり、学校生活を送れるよう、引き続き切れ目のない支援を行っています。
28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	45	1	11	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っている 57件の回答 	見学説明会を実施して学園の取り組みや役割、機能を知っていただく機会を年間計画に基づき実施しています。また、地域生活支援事業などを活用した支援力向上に向けた取り組みを行っています。	地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能を持つ中核拠点として、専門性の高い支援を行い、地域の支援力がさらに高くなることに貢献していきます。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	51	1	5	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている 57件の回答 	年間計画に基づいた研修機会を設定し、質の向上を目指しています。外部研修への参加については、本人の意向やキャリアパス、学園としての育成方針も踏まえ、参加を促しています。	幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能、地域の障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能を有する中核拠点型児童発達支援センターとして、地域の様々な機関への職員派遣を続けていきます。
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	48	0	9	学園は(自立支援)協議会こども部会や、地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している 57件の回答 	学園では、地域自立支援協議会こども部会や相談支援部会、子どもに関する各種会議に参加したり団体の活動に参加しています。	引き続き、各種会議や活動に参加することによって、支援が必要なお子さんや家族のことをもっと知っていただき、地域で安心して生活できることを目指していきます。また、様々な機会にて行政等に意見を伝えることで、支援が必要なお子さんとご家族が暮らしやすい社会の構築を目指していきます。「わからない」と評価している職員が一定数いることについては、園内での周知の工夫を行っています。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。						

保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	53	3	1	<p>保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会がある 57件の回答</p>	毎日通園室では、うめだ「子供の家」と、組織的・計画的なインクルーシブ活動を行っています。青井保育園での園庭活動も開始しました。毎日通園室以外の室では、園生活の充実に向けて、小集団活動を行ったり、関係機関連携を行っています。	毎日通園室の取り組みを始め、地域のインクルーシブ推進の中核機能を持つ児童発達支援センターとして、多様な支援メニューを準備し、それぞれの室に所属するお子さんたちの地域生活の充実や、インクルーシブな社会の構築の一端を担っていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	55	0	2	<p>日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている 57件の回答</p>	多くの職員が「はい」と評価しているように、お子さんのことについて保護者と様々なタイミング・ツールを準備して共通理解を図っています。翻訳アプリや翻訳ツールなども用いて、日本語が母国語ではない保護者とも円滑なコミュニケーションを図るよう努めています。	共通理解を図ることの重要性を引き続き職員で周知していきます。また、日々のミーティングによる振り返りによる気づきあいや、園内スーパーバイズやコンサルテーション、各種研修機会を通じたコミュニケーションスキルや面談スキルなどの向上なども目指していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	55	0	2	<p>家族の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し、参加できる研修の機会や情報提供等を行っている 57件の回答</p>	ペアトレや各種講座などを、年間通して行っています。登園頻度の少ない部門では、動画なども用いて情報提供の機会を設けるなどの工夫も行っています。	引き続き、保護者のニーズに沿った企画などを行い、家族への支援を行っていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	48	0	9	<p>運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている 57件の回答</p>	利用開始前や利用開始時に、保護者にわかるよう説明する心がけています。変更が生じたときには、職員朝礼など全体で共有するようにしています。	保護者にどのように伝えているか、何を説明しているのかについて、職員にも適宜周知していきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	56	0	1	<p>児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている 57件の回答</p>	多くの職員がこの項目について「はい」と答えています。児童発達支援計画の作成に当たり、こどもや保護者の意思の尊重し、こどもの最善の利益の優先しつつ、こどもや家族の意向を確認する心がけています。	引き続き、保護者とお子さんの意向を丁寧に確認していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100			<p>「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明し、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている 57件の回答</p>	多くの職員がこの項目について「はい」と答えています。丁寧に保護者と話をしたりしながら、同意を得るようにしています。	引き続き、質の高い支援のための支援計画の作成を保護者と一緒に行っていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	56	0	1	<p>定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている 57件の回答</p>	多くの職員がこの項目について「はい」と答えています。保護者から聞いた相談に個別などの中で答えたり、保護者から頂いた情報の職員間の共有などを行うことができています。家族支援に関してもチームアプローチでの実践が丁寧に行われています。	引き続き、保護者が相談できる仕組みの周知や、安心して相談できる状況づくりなどを行っていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	51	3	3	<p>父母の会の活動を支援することや保護者会等を開催し、同士で交流する機会を設ける等の支援をしている 57件の回答</p>	父母の会、おやじの会、懇談会(毎日通園室)、グループの保護者の時間(親子通園室)、ぶちひろば、その他の行事等、保護者の方向士のつながりづくりを支援しています。きょうだいまい同士の交流については、行事の中でその機会を設けたり、ふうせんクラブの活動をサポートしています。	引き続き、学園として、ご家族や保護者の活動を支援していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100			<p>こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応し、それがあつた場合に迅速かつ適切に対応している 57件の回答</p>	相談体制の整備、周知と、タイムリーな対応を心掛けることができています。	引き続き、全園をあげて、保護者やお子さんからの希望に沿って、相談や申し入れに対応していきます。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	51	4	2	<p>定期的に通信等を発行することやHPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している 57件の回答</p>	セコムメール、書面による掲示や配布、HP、モニター、インスタグラムなど、各種ツールでの情報発信をしています。	引き続き、色々な手段によって、園内外に情報発信をする心がけていきます。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	54	2	1	<p>個人情報の取扱いに十分留意している 57件の回答</p>	個人情報の取り扱いについて、共通認識を持って取り組むように心がけることができています。	個人情報に関するヒヤリハット事例などを参考にしながら、現状活用しているツールや個人情報取り扱いのルールについて、整理・確認し、個人情報の取り扱いについて、全職員が共通認識を持てるよう、全園を上げて引き続き取り組んでいきます。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100			<p>障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている 57件の回答</p>	保護者やお子さんとの意思疎通のため、いろいろな工夫を行うことができています。	引き続き、保護者やお子さんが安心して職員とやり取りできるよう、学園として取り組みを続けていきます。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	54	0	3	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている 57件の回答 	フェスティバルの行事で地域の方にも開かれた施設にしているだけでなく、年間計画で予定された学園見学説明会なども開催しています。	行事や見学説明会、研修等に来園していただくだけでなく、インクルーシブ活動などで子どもや職員が地域に出ていくことも引き続き行っています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	56	1	0	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、発生を想定した訓練を実施している 57件の回答 	各種マニュアルを整備し、必要な訓練を年間計画により行っています。	必要に応じてマニュアルなどの見直しを行い、訓練なども実施していきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	56	1	0	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている 57件の回答 	学園では、各種BCPを準備し、様々な状況を想定した訓練を行っています。	防災委員会を中心に、引き続きBCPの充実や訓練の実施を積み重ねていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	54	1	2	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している 57件の回答 	学園利用にあたっては、うめだ・あけぼの診療所医師の診察を行い、医療情報を確認しています。	必要な医療情報について、急遽お子さんにかかわることになった職員もタイムリーに共有できるよう、職員間の情報共有を引き続き丁寧に行っていきます。
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	56	0	1	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされている 57件の回答 	学園では、お子さんの主治医とうめだ・あけぼの診療所医師の連携により、食物アレルギーのあるお子さんの給食提供を行うことができます。	引き続き、食物アレルギーをはじめとするアレルギーのあるお子さんの対応を、診療所医師、学園看護師も交えながら行っていきます。
非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	49	1	7	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、安全管理が十分された中で支援が行われている 57件の回答 	安全に関する各種マニュアルがあり、年間計画で訓練なども行われています。	引き続き、お子さんの安全な過ごしに向けた取り組みを継続していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	47	1	9	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している 57件の回答 	保護者も訓練に参加するなどの機会を設け、安全に関する取り組みの共有を図っています。	引き続き、安全に関する取り組みについて保護者への周知も行いながら、お子さんの安全な過ごしに向けた取り組みを行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	54	1	2	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している 57件の回答 	ヒヤリハット対応委員会を中心にアンケートが行われたり、各部門ごとでヒヤリハット(セーフでホット)の確認が行われています。	ヒヤリハット対応委員会の取り組みによりヒヤリハット事例の深堀を通して、事故の予防に向けて、引き続き全園を上げての取り組みを行っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	53	2	2	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている 57件の回答 	研修機会、情報共有などを通して、学園を上げて虐待防止に取り組んでいます。	引き続き、虐待防止に向けて高く意識を持てるような取り組みを行います。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	50	0	7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、説明を得た上で、児童発達支援計画に記載している 57件の回答 	この項目について、多くの職員が「はい」と答えることができます。虐待防止委員会の取り組みにより、各種アンケートや面談なども実施されています。	「わからない」という職員をさらに減らしていけるよう、共通認識を図っていけるような取り組みを検討していきます。